

片岡球子画伯 略年譜

- 1905（明治38）年 1月5日 札幌市に生まれる。
- 1923（大正12）年 18歳 北海道庁立札幌高等女学校師範科卒業。
- 1926（大正15）年 21歳 女子美術専門学校（現在の女子美術大学）日本画科高等科卒業。
横浜市大岡尋常高等小学校教諭就任。
- 1930（昭和5）年 30歳 日本美術院再興第17回展で「枇杷」が初入選。
- 1946（昭和21）年 41歳 第31回院展で「夏」が日本美術院賞受賞。
- 1950（昭和25）年 45歳 第35回院展で「剃髪」が日本美術院賞・白寿賞受賞。
- 1952（昭和27）年 47歳 第37回院展で「美術部にて」で日本美術院賞・大観賞受賞。
日本美術院同人に推挙される。
- 1955（昭和30）年 50歳 横浜市立大岡小学校を退職。女子美術大学日本画科専任講師になる。
以後、1960年に同大学助教授、65年に教授に就任。
- 1961（昭和31）年 56歳 芸術選奨文部大臣賞受賞。日本美術院評議員になる。
この年から火山をテーマにした作品を発表する。
- 1966（昭和41）年 61歳 愛知県立芸術大学が開校、日本画科主任教授に迎えられる。
歴史上の人物を描いた「面構」シリーズの制作を始める。
この頃から富士山に本格的に取り組み始め、現在に至るまで
「富士」を描き続ける。
- 1972（昭和47）年 67歳 片岡球子富嶽三十六景展をパリで開催。
- 1975（昭和50）年 70歳 院展出品作「面構 鳥文斎栄之」で日本芸術院賞恩賜賞を受賞。
- 1979（昭和54）年 74歳 初の回顧展、片岡球子展 人間心理の鮮烈な描写 が神奈川県立近代美術館ほかで開催される。
- 1981（昭和56）年 76歳 日本美術院理事になる。
- 1982（昭和57）年 77歳 日本芸術院会員に選ばれる。
- 1983（昭和58）年 78歳 この年から裸婦を描いた作品「ポーズ」の連作を始める。
- 1986（昭和61）年 81歳 文化功労者に選ばれる。
- 1989（昭和64）年 84歳 文化勲章を受章する。
- 1991（平成3）年 86歳 片岡球子展 画業七十年 が名古屋で開催される。
- 2000（平成12）年 95歳 熱き挑戦 - 片岡球子の全像展が横浜美術館で開かれる。
- 2004（平成16）年 99歳 白寿記念 片岡球子展 極める 人間と山 が東京、大阪、名古屋で開催される。
- 2005（平成17）年 100歳 片岡球子百壽展を高島屋で開催。